

いしかり砂丘の風資料館紀要

第4巻

**BULLETIN OF THE ISHIKARI LOCAL MUSEUM**

**Volume 4**

**March, 2014**





口絵1. 2011年9月16日, 石狩湾新港  
付近で定置網に混入したジンベエザメ  
(撮影: 清水周一郎さん).  
A: 吻部, B: 第1背鰭

## 口絵1. 2011年に石狩湾沿岸で定置網に混入した ジンベエザメ

### *Rhincodon typus* caught by fixed net on the coast of Ishikari Bay in 2011

2011年9月16日、石狩湾の湾奥部、石狩湾新港の東方に設置されたサケ定置網に、ジンベエザメ*Rhincodon typus*が混入した。

この情報は、2013年10月に、いしかり砂丘の風資料館に寄せられた。陸から約1000m沖で定置網を引き揚げたところ、体長14~15mのジンベエザメが混入しており、暴れるため漁船が転覆する危険があり、急いで放流された。第八十八石狩丸の漁師、清水周一郎さんによって2枚の静止画像が撮影された。体長は網の口の大きさや漁船のサイズから比較して推測された値である（志賀，2014）。

ジンベエザメは世界最大の現生魚類であり、体長は最大で17~18mに達するだろうと言われているが、これまで計測された最大値は13.7mとされている。いずれにしても大型の鯨類にも匹敵するサイズである。体色は青灰色で、白色の斑点と格子状の模様が極めて特徴的である。腹面は白色。プランクトンや小魚類を海水ごとと口腔に含み、鰓耙で濾しとって摂食する。

分布域は世界の熱帯から温帯海域で、外洋から沿岸まで回遊する。国内では年間に数頭から20頭程度の目撃・混入情報がある（水産総合研究センター，2013）が、そのほとんどは関東地方もしくは北陸地方よりも西方である。北海道沿岸でのジンベエザメの記録は、本件のほかには、2011年9月の増毛（三原，2012），2012年9月の余市の2例しか知られていない。前者の体長は約5m、後者は約3mなので、今回の石狩湾における発見情報は、北海道沿岸で最大個体の記録と考えられる。

（志賀健司）

#### 引用文献

三原栄次，2012. 北海道初記録のジンベエザメ. 北水試だより，84：26.

志賀健司，2014. 2011年に石狩湾で発見されたジンベエザメとその海洋学的意義. いしかり砂丘の風資料館紀要，4：7-11.

水産総合研究センター，2013. ジンベエザメ日本周辺. 平成24年度国際漁業資源の現況.





A  
ハマトビムシを押さえるイソコモリグモ  
(発見直後)。



B  
撮影に気づいて獲物を巣穴に引き込もうとする。



C  
獲物を捨てて撮影者を威嚇。



D  
巣穴に避難して外をうかがう。

口絵2. イソコモリグモの朝食。

## 口絵2. イソコモリグモの朝食 A wolf spider's breakfast

2013年7月4日午前9時過ぎ、石狩灯台前浜の波打ち際近くでコモリグモ科イソコモリグモ (*Lycosa ishikariana*) が体長1.5cmほどあるハマトビムシを捕獲しているところに遭遇した。イソコモリグモはクモの巣を張らず、歩きまわって獲物を捕獲する。

体長は2cm以上ありメスと思われる個体で、ハマトビムシはまだ動いており捕獲直後とみられる (A)。近づいて撮影を始めると獲物を巣穴に引き込もうとし、威嚇する行動も観察された (B)。

イソコモリグモは石狩浜がタイプ産地 (新種記載の標本採集地) で1934年に記載された日本固有種。分布は北方領土から日本海側が島根県戸田海岸、太平洋岸は茨城県までの砂浜の一部にみられる。孵化後の幼体を腹部背面にのせて保護する習性があることから「コモリグモ」の名がある。生息域を拡大する分散は歩行で、飛行分散は行わないため分散能力は低く、現在、環境省の絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている、

(石橋孝夫)



# いしかり砂丘の風資料館 紀要

## 第4巻

### 目次

#### 論説

- 木戸 奈央子：石狩弁天社の笏谷石製狛犬 …1
- 志賀 健司：2011年に石狩湾沿岸で発見されたジンベエザメとその海洋学的意義 …7
- 荒山 千恵：石狩紅葉山49号遺跡から出土した木製容器について …13
- 山口 高広・笹井 優子・渡辺 晴南・松橋 廉・東海林 烈人・渡辺 美月・渡部 友子：  
石狩砂丘におけるクロコウスバカゲロウ（脈翅目：ウスバカゲロウ科）幼虫の  
巣穴づくり行動—高温下ではどのような場所を選択して巣穴を作るか— …25
- 内藤 華子・寒河江 洋一郎：石狩川河口砂嘴におけるイソスミレの1989年と  
2012-2013年との分布比較 …31

#### 報告

- 石橋 孝夫：石狩浜漂着物考古学ノート1 石狩浜の漂着遺物とその履歴 …41
- 木戸 奈央子・石橋 孝夫：石狩浜漂着物考古学ノート2 石狩浜・石狩川河口に  
漂着した陶磁器 …55

#### 資料

- 工藤 義衛：開拓使公文録「元中主典富田信定、贖罪例ニ依リ処断ノ件」 …61

#### 口絵

- 2011年に石狩湾沿岸で定置網に混入したジンベエザメ …i
- イソコモリグモの朝食 …iii

